

平成18年8月25日～平成18年9月12日

# 特集 ～命の水止まる～

去る8月25日、広島県営水道の送水トンネル崩落事故発生から9月12日の断水事故集結までの経緯と問題点について、各常任委員会による検証を報告します。

## 総務常任委員長

平成18年8月25日広島県営水道の送水トンネル崩落事故発生、復旧の見通しは不透明。企業局断水対策本部設置。本市では一部を除き全地域で断水世帯数11,950世帯、断水人口23,900人。8月26日には市内21カ

所に給水拠点を受け市民に給水開始。8月27日市災害対策本部を設置。各方面より人的・物的支援協力あり。陸上・海上自衛隊からは組織的支援があり。陸上自衛隊は給水活動に給水車延べ558台、周辺自治体などより延べ

166台の車両支援がありました。海上自衛隊からは給水船による大量の給水支援があり、深田サルベージの岸壁より小用前早世浄水場への送水は消防団・消防署が担当しました。活動状況は、海上自衛隊給水船延べ57隻、民間船延べ54隻。総給水量31,465トン。岸壁から浄水場までの送水は消防ポンプ車16台、消防団員延べ102名。また消防署からは大型化学消防車13台、消防ポンプ車3台、延べ97名が出動。8月27日から9月11日までの16日間、給・送水活動しました。



市消防署による送水活動



陸上自衛隊給水車による支援活動



海上自衛隊給水船による支援活動



消防団による送水活動

9月6日から県・呉市の支援給水の拡大等により24時間全面給水を再開。9月11日には県送水トンネル工事完了。午前5時50分送水開始。午後1時10分小用前早世浄水場にて通水を確認。安定給水体制が整う。午後3時災害対策本部解散。断水生活から開放されましたが、各方面からの温かいご支援また区・自治会・区民会・各種団体からのご協力を厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

**【一般会計】**  
この度の断水災害に係る経費4,730万円の内訳。有償分3,200万円、無償分1,530万円、概算報告します。  
**【有償】** 職員の間接手当1,161万円、需用費776万円、業務委託料370万円、使用料・賃借料341万円、企業局(国民宿舎)入浴料309万円、その他243万円。  
**【無償】** 井戸水の検査料金広島県負担1,000万円、坂町・呉市よりの友情の水370万円、国土交通省人件費・交通費等136万円、その他24万円。  
**【企業会計】**  
水道事業会計  
断水災害に係る経費503万円の内訳。  
**【有償】** 職員の時間外手当106万円、負担金397万円。  
以上、関係者の皆さま方に感謝申し上げます。  
**【無償】**とは、断水災害に伴う経費のうち請求されなかったものをいいます。

## 断水事故の被害額は

## 文教厚生常任委員会

◆9月4日

この度の広島県営水道の送水トンネル崩落事故(災害)について、教育委員会並びに福祉保健部に出席を求め、委員会を開催しました。その概要を報告します。

**Q 2学期が始まったが、給食センターの機能は。**

**A** 全面復旧は給水が正常に供給されてからです。

5日からの12時間給水が安定すれば、11日から通常給食が可能で、それまでは主食をパン、おかず2品目のスープと炒め物程度で対応します。食材の調達、衛生面の管理



▲元気な沖小学校の児童

等注意をしています。

また、給食共同調理場場長と栄養士との合同会議を開催し、連携を密にしています。

**Q 児童生徒の飲料水の確保は。**

**A** 学校分の救済物資として天然水3,200ケースを配りました。児童・生徒には、学校で配付し生水を飲まないよう指導しています。

**Q 通常の給水が可能なら、10日に体育祭が予定されている中学校は、無理に半日に短縮しなくても良いのでは。**

**A** 学校行事は、学校主導で判断しています。

**Q 水洗トイレ等、学校現場の先生方も苦労しているが。**

**A** 最大限の努力をするよう指示しています。

**【福祉保健部関係】**

〔福祉保健部長説明〕  
26日に民生・児童委員に、独居老人、また要援護者の把握の依頼をしました。27日には、各保育園に

ポリタンク150個の給水をしています。身体の不自由な方に断水状況の説明をしました。

29日は、市長が市内を巡回し、病院等の視察をしました。

**Q 対策本部と現場の情報に齟齬しています。伝達系統の一元化が必要だと思いませんか。**

**A** 今後の課題です。  
**Q 各地区の自治会等の対応に差があったが。**

**A** 対策本部は、ボランティアの受付まで対応できませんでしたが、自主的に各地域で活動していただきました。

**Q 自衛隊の災害派遣で随分助かりました。各自治体からの救援もありがたい。**

**A** 社会的弱者への対応等を含め、今後に生かしたいと思えます。紙面をお借りして、当委員会として、お世話をいただいた全ての皆さま方に感謝いたします。ありがとうございました。

日	概要	要
8月25日(金)	12時30分頃県営水道の送水トンネル崩落事故 市企業局断水対策本部設置	
8月26日(土)	本市では一部を除き全地域で断水。世帯数11,950世帯(全世帯数の約80%)、断水人口23,900人(全人口の約80%) 市内21カ所に給水拠点を設け市民に給水開始(随時開設箇所を増設) (自衛隊等の支援状況は2に記載)	
8月27日(日)	市企業局断水対策本部から市災害対策本部へ移行 防衛庁長官が市内視察 県副知事が市内視察 井戸水の飲用適否検査開始(約2,000件)。約3割が飲用可	
8月31日(木)	市内4カ所に無料浴場を開設(うち2カ所は陸上自衛隊の浴場施設) 呉市が本市へ友情の水送水開始 地域限定時間給水開始 (断水地域を4区分し、4日に1回のローテーションで4日までの午後4時～8時給水)	
9月1日(金)	呉市が本市への送水量増量を決定 (9月5日～7,000トン/日)	
9月3日(日)	坂町が呉市を經由し本市へ友情の水送水開始 全地区時間給水開始(午前8時～午後8時) 給水所、入浴サービスを終了	
9月5日(火)	全地区時間制限なしの給水開始(午前0時)	
9月6日(水)	5時50分送水トンネル給水再開 16時10分前早世浄水場にて通水を確認 完全復旧したため呉市などからの応援送水を停止 市災害対策本部を解散し市企業局断水対策本部に移行	
9月11日(月)	市企業局断水対策本部解散	
9月12日(火)		



▲陸上自衛隊の浴場施設